

# 読書

一九二二年、アール・ヌーボー、アールデコが花開いたフランスで、奇跡ともいえるファッション誌「ガゼット・デュ・ボントン」(Gazette du Bon Ton) (上品な雑誌の意味)が誕生した。

の女性は六百年の間、コルセットで腰を極端に絞ったスタイルを強いられてきたが、同誌の創刊者リュシアン・ボージェルは旧来のスタイルに抗して腰周りがゆつたりとしたドレスを掲載、

## 県図書館に行こう

こんな情報報が待っている

二五年に終刊したが、社会に与えた影響やその高いた。また、職業婦人用スーツや飛行服も取り上げ、社会に進出しつつある女性に新しい時代の到来を告げるものとして受け入れられた。

この雑誌はパリでも屈指のデザイナーの革新的スタイルを掲載した。創刊以前、ヨーロッパ斬新なスタイルは、パ

## 革新的スタイル描画

「ガゼット・デュ・ボントン」ファッション誌

リで活躍する個性的な画家によって鮮やかなラストとして再現された。写真性より、衣装から背景に日本風屏風(びょうぶ)や東洋趣味の家具を置き、衣装をさらにドラマチックに描いている。このイラストは、高度な技術を持つ職人によって一枚一枚彩色され、芸術性をさらに高めた。

イラストにはアール・デコ様式にはじまり、キ



20世紀初頭の美しいイラストで描かれた衣裳デザインのひとコマ (「ガゼット・デュ・ボントン」より)

県図書館は、このファッション誌の極めてまれな完全ぞろいを所蔵。ホームページ (http://www.library.pref.gifu.jp) でも、その美しい画像をみる事ができる。